

1 6 6  
隔 月 刊

8月

http://www.netlaputa.  
ne.jp/~yamanote

あたたかい介護をお届けします

# まごころサービスだより

●発行 NPO法人東京山の手まごころサービス  
●編集 広報 〒169-0075 新宿区 高田馬場1-32-7 信ビル 301  
☎受付 3205-6813(留守電共)・3205-7900 FAX 3205-6766

天候異変とコロナ拡大に  
負けることなく  
ご利用者の支援を続けます

代表 服部 万里子

日本国内の新型コロナウイルスの新規感染者はまたもや拡大を続けています。医療体制が再びひっ迫し、自宅療養者が倍増しています。医療従事者の方々の労力に感謝したいと思えます。

政府は第7波対策として「新たな行動制限はしない」また「ワクチンの4回目、3回目それぞれの速やかな接種を推奨」という考えを示しました。ことなく「個人任せ」な感が否めません。一方、コロナに感染した人の後遺症も出ていて、制度的な対応が求められています。

## まごころサービスの訪問介護員

まごころでは、介護員自身の技量よりもより、担当者ならではの個性を活かしたサービスをご利用者に届けています。通院同行や入浴介助はもちろん重要かつ不可欠ですが、在宅のニ-

ズは多様です。時には、食欲のない高齢者に食欲が湧くような食事を、また、飲み込みが良くないがお粥は飽きたという高齢者には、一味違う食べやすい食事を用意するなど、ベテランヘルパーならではの創意工夫をもって、対応させていただいています。

## 疲弊するご家族へ支援の輪を

ご利用者もそして、ご家族も、いろいろとご苦労の尽きない毎日を過ごしているんじゃないかと思えます。政府の報告では、子供への虐待が年々増加傾向にあり、全国の児童相談所が対応する虐待相談件数は30年連続で増加しているそうです。背景には核家族化や、地域とのつながりが希薄になったこと、また、誰にも相談できないため、介護に当たる親御さんが孤立しているということもあります。介護者が被介護者と同居の場合は終日、自由にしないことが、また、別居の場合には介護者が定期的に自宅を訪れなければならぬことが重荷になっていることも。まごころでは、このような介護家庭に寄り添い、お話を伺い、時に

は最善の策を検討します。因みに、一例を挙げると『脳梗塞の後遺症がある夫が突然、痙攣を起こし、救急搬送されました。大事に至らず自宅に無事戻りましたが、その後のサポートとして、妻が不在の時に緊急通報できるよう手続きをすることに。しかし、65歳以下は対象外でした。結果的には、障がい者福祉制度の活用で、緊急通報システムの導入を可能にしました。このような体験を通して、制度の狭間にひるむことなく、あらゆる施策を活用して支援することの大切さを痛感しました。まごころは、今後も様々な制度を活用しながら、支援を広げていきたいと思っています。



## 令和3年度特定非営利活動法人東京山の手まごころサービス事業報告（※一部抜粋並びに要約）

令和3年は新型コロナウイルス（以下コロナと表記）3回目の緊急事態宣言が4月に発動され、令和4年3月21日に蔓延防止等重点措置がすべて解除されるまで、昨年に続きコロナ感染対応に多くの時間を費やすことになりました。すべての分野でキャンセルが増大したことも影響して、今期の事業収入は減収になっています。非常時によるサービスの変更や調整などが必要となり、何かとご不便をおかけしましたが、皆様のご協力が必要なサービスを続けることができました。感謝申し上げます。

●介護保険事業：まごころサービス（以下まごころと表記）は訪問することで、ご利用者やご家族のお話を伺い、適切な情報提供や対応に努めました。非常時にあって、生活の安心を優先して支援しました。介護職員がPCR検査を定期的に受けることで感染予防への意識を高めました。サービス利用を控える状況によりキャンセルが増加、減収になりました。

●同行援護事業：社会活動など、必要な外出の支援は、万全な安全対策を図りながら提供しました。サービスが途絶えることのないように、個別に提供方法を工夫しました。全体としては、外出の制限でキャンセルが増え、減収になりました。

●高齢者総合相談センターとの連携強化：リモートワークやウェブ会議など、新たな業務の形を採り入れながら、多様な働き方を可能にしました。新規受け付けは、人員が充当できる限り、対応いたしました。

●居宅介護支援事業：コロナ禍にあって、通所サービスの休止などによるサービスプランの見直しや変更の諸手続き、また、感染者や濃厚接触者に対してのサポート業務が増えました。各関係機関と連携を密にして対応すると同時に、直接訪問できない期間は、電話で体調の確認やサービス内容の調整を行いました。

●障がい者総合支援事業：重度障がい者（児）支援は切れ目なく必要なサービスを提供することで、在宅生活の維持が適切に継続されました。全体としては、キャンセルが増大したことで減収になりましたが、予防対策を徹底して必要なサービスを提供できました。

●マイプラン（自費）事業：制度の枠外サービスが必要なご利用者の要望に応じて提供してきました。コロナ禍の影響で利用が減少しましたが、来期は新たな市場を開拓します。

●地域活動支援事業：「介護予防、生きがい作り、健康作り」を目的とした取り組みです。人と触れ合い地域とつながることを支援していますが、コロナ禍で集会が敵わず、今年度の活動はできませんでした。

## 令和4年度特定非営利活動法人東京山の手まごころサービス事業計画書（※一部抜粋並びに要約）

依然としてコロナは終息に至らず、介護業界は予防対策の継続が求められています。まごころでは職員の定期的なPCR検査の実施はもとより、今年も関係機関と連携しサービスの向上に努めてまいります。

●介護保険事業：令和4年度も感染対策を徹底して、切れ目のないサービスを提供します。介護職の処遇改善のため、国の推進する各種加算取得条件を満たす事業所として、体制の見直しや改善に力を入れていきます。また、業務継続計画の策定を進め、非常時にも業務が継続できるよう体制を確立いたします。

●居宅介護支援事業：開設時より新宿区ケアマネットに参加するなど必要な研修を通してスキルアップを図っています。実務経験5年以上の職員に対して、主任介護支援専門員の資格取得を支援するとともに、一般更新研修の受講等スキルアップの支援に力を入れていきます。新宿区高齢者総合相談センターや障がい分野の相談支援員との連携にも努めていきます。

●障がい者総合支援事業：新宿区の障がい者総合支援のニーズは依然として増加傾向にあります。今回は災害時業務継続対策が遅れをとった形となり、フレイルを予防するための見守りや、安否確認を含む必要なサービスが万全でなかった状況も生じました。今後は、より一層、ご家族との信頼関係を築きながら、質の高い支援を提供していきます。

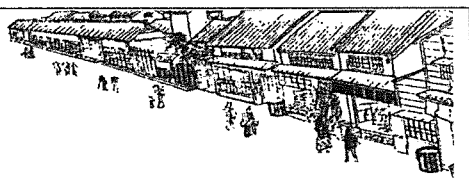
●マイプラン（自費）事業：外出支援の要望も社会情勢に伴い増えるものと考えます。時には、退院後の在宅生活を支えるサービスとして、また、食の大切さや人との交流を取り戻すサービスとして、多くの方にマイプランをご利用いただけるよう力を注いでいきます。

●地域活動支援事業：「まごころこめこめ倶楽部」は、コロナ禍で休止中ですが、再開に向け準備しています。広くは介護予防を目的としていて、区民の生きがいと交流、健康作りに新たな視点で取り組みます。

●広報・地域活動その他、対外活動：ホームページのリニューアルに取り組みます。まごころサービス便り（隔月発行）を継続します。協力会員便り（毎月発行）を継続します。WAC（公益社団法人長寿社会文化協会）の法人会員を継続します。新宿区NPOネットワーク協議会会員として参画。新宿区の難病支援のネットワークメンバーとして地域活動に力を入れます。戸塚地域福祉会議に参画し、地域の情報を共有します。

# 教えてご隠居さん

知らぬことあらば「ご隠居に聞け」とばかりに今日もまた  
“ハつつあん”がやってきた。【高齢者・夏の過ごし方】



**ハつつあん**『この暑さで、おとつつあんのあせもがひどくなりました。それと、ベッドや車椅子で過ごす時間が長くなってきたので、床ずれを心配しています』

**ご隠居**『夏は肌のトラブルが起きやすい。汗でかぶれたりすれば、感染症を引き起こす菌も出現しやすくなる。肌を良好な状態にしておくには、まず、清潔に。汗をかきやすいところは、軟らかい素材（ガーゼ等）のタオルで、こまめに拭くといい』

**ハつつあん**『脇の下とか、ひざの裏とかですかね』

**ご隠居**『女性の場合は、胸の下もね。そして、着替えやシーツを交換する回数を少し増やして、肌がサラッとした状態を保てるようにすること』

**ハつつあん**『おとつつあんは紙パンツを使っているんですが、この時期、かぶれが目立つようになりました』

**ご隠居**『湿気がこもりやすいからね。パンツを交換する際は、ウェットシートで拭くだけでなく、乾いたタ

オルで水分をぬぐうことも大事』

**ハつつあん**『新型コロナ感染症もまだまだ気になるところですが、いわゆる「夏風邪」なんかの予防はどうしたらいいんでしょうか』

**ご隠居**『感染症予防の基本は「手洗い」。家族から感染症が持ち込まれることもあるので、当事者だけでなく、関わる人全員で手洗いを習慣づけることが大事です』

**ハつつあん**『夏バテしないよう、おとつつあんに栄養のあるものを食べてもらいたいけど、食欲が減退しているようで、なかなか食べてもらえません』

**ご隠居**『栄養は大事だが、食欲のない時は、まず、本人が食べたいものを。スイカ等、季節の果物は、水分豊富でビタミンも豊富。喉越しの良いアイスクリームやプリン等にしても、それなりにカロリーが補給できる。なので、体力を保ちながら、無理することなく、この夏を過ごすようにして欲しい』

## 現場 - ING

- そつめんを茹でる時、ご自身で育てた紫蘇を使って、長ネギと一緒に刻んで召し上がっています。猛暑の中でも、冷房を適切に使用され、水分補給もこまめにしていらいっしやいます。
- 梅雨が明けて、暑さも厳しくなり、汗をかきながらの散歩になりました。コロナ禍ということもあり、図書館では長時間の利用を控え、この日は、30分ほどで退館しました。その後は、公園で休憩し、マスクを交換した後、帰宅されました。
- 神田川沿いを散歩しました。お目当てのカルガモ親子は残念ながらもいませんでした。帰宅後、お茶を一服。さうじ、声出しリハビリをされました。その後、タクシーでショートステイに。入室すると、早速、ご自身の荷物を定位置に並べていらっしやいました。
- スーパーで、その日、調理する魚を、ご自身で選んでいらっしやいます。この日は、イワシの生姜煮をお作りしました。調理中は室内の換気「気を配ってくださいます。」
- お孫さんの家に泊まりにいらっしやるそうです。「泊りに来て」と言っていただけのお人柄は、素晴らしいと思います。
- 室内では松葉杖を使用されています。買い物の際、同行していますが、車椅子の振動が身体に響き、疲れを感じるとおっしゃっています。術後の足の痛みもあり、未だお薬を飲んでいらっしやいます。

《お知らせ》

こめこめ倶楽部について

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、地域生活支援事業「まごころこめこめ倶楽部」の開催を見送っております。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

営業時間外

緊急時のご連絡について

平日時間外及び休日のご連絡は左記の番号におかけください。なお、留守番電話は転送されますので「お名前メッセージ」を録音して下さい。

●東京山の手まごころサービス  
電話03(3205)6813代表

●事務局の営業時間(平日) 月曜日～金曜日 10時～18時まで

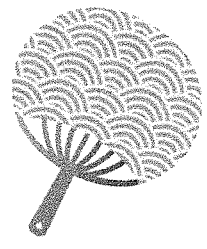
●事務局の休業日(サービスは通常通り提供しております) 土・日・祝日ほか、年末年始、夏季休業期間については、前もってお知らせいたします。

賛助会員のご支援いただき

ありがとうございます

- 日高 實則様 ●山本 武子様
- 白井 榮司様 ●山中 孝治様
- 大澤 久江様 ●青木 康雄様
- 宮本 ケエ様 ●山本 静子様
- 上村 ムツ様 ●香山 誠志郎様
- 高橋 剛様 ●内藤 幸一様
- 大河内 節子様 ●井浦 由子様
- 大脇 美代子様 ●堀井 佳奈子様
- 中野 知代様 ●西村 早苗様

- 西 栄子様 ●鈴木 キヌエ様
  - 中島 道子様 ●加藤 萬智子様
  - 杉山 歩様 ●菊原 和子様
  - 勝屋 千津子様 ●相場 裕美様
  - 鈴木 富美子様 ●松谷 末子様
  - 中島 健一様 ●石井 央様
  - 岡田 七郎様 ●加藤 拓様
  - 関本 孝子様 ●大橋 重信様
  - 山崎 孝様 ●河崎 恭子様
  - 森田 知子様 ●湯浅 良子様
- (順不同・令和4年7月現在)



訪問介護員大募集中!

ヘルパーさんが不足しています。お知り合い、お友達、ご親戚の中に協力会員として登録可能な方がいらっしゃいましたら、経験や資格の有無に関わらず、ご紹介いただければ幸いです。また、家事の得意な方も歓迎いたします。なお、心ばかりではございますが、謝礼を用意しております。

(事務局)

活動実績報告・活動時間  
(令和4年4月～令和4年6月)

	令和4年5月	令和4年6月	令和4年4月～6月の合計	令和4年4月～6月の平均
移動支援	179.0	204.5	566.0	188.7
介護保険	470.0	440.0	1348.4	449.5
回復・リフレッシュ	49.0	34.0	127.0	42.3
自費・マイプラン	80.0	90.5	269.0	89.7
重度訪問介護	117.0	110.0	324.5	108.2
居宅介護	676.0	736.5	2042.0	680.7
同行援護	367.5	378.0	1079.0	359.6
日常生活支援 総合事業	187.5	199.5	566.5	188.8
総計	2126.0	2193.0	6322.4	

編集後記

再び変異コロナが拡大してきました。自粛生活が解禁になり、夏休みに祖父母に会えるのを楽しみにしていたのは子供たちはもとより、大人たちも同じで、出鼻をくじかれたような、何かと気が滅入る昨今です。月日が経つても色褪せることなく、懐かしい風景が一瞬のうちに甦ってくるのが、夏の思い出。その貴重なひと夏に、感染対策を頭に入れて過ごさなければならぬのが、今を生きる子供たちです。ともあれ、子供たちには、その柔らかい心で、不確実な時代を乗り越え、遅く未来を拓いてくれることを期待します。七夕の短冊にはそんな願いを込めました。

基本的な感染予防対策の徹底に努め、ご自身そして、大切な人を守りましょう。  
西野(智)

夏季休業日のお知らせ

誠に勝手ながら事務局は先の日程でお休みさせていただきます。この期間のご連絡は留守番電話で承ります。尚、留守番電話は転送されますので、発信音の後に、お名前とご用件をお話しく

ださい。  
8月10日(水)～8月16日(火)  
※電話03(3205)6813